

奄美図書館だより

平成26年1月1日発行
第271号(1月号)
鹿児島県立奄美図書館

〒894-0016 奄美市名瀬古田町1-1 0997-52-0244

HP address: <http://www.library.pref.kagoshima.jp/amami/>

E-mail address: ama-lib@pref.kagoshima.lg.jp



2014 謹賀新年

皆様、明けましておめでとうございます。

旧年中は、当館のご利用誠にありがとうございました。お陰をもちまして平成21年の開館以来、7月末で入館者数70万人を達成することができました。1年あたり約16万人、1日あたり約550人のご利用をいただいたこととなります。100万人突破に向けてますます図書サービスに励みたいと思います。

また、当館が開催した各種行事にも多数ご参加いただきました。重ねてお礼申し上げます。本年度はあと2回になりましたが、奄美の良さを知り、生活に生かす講演会「あまみならでは学舎」、子どもたちの科学的探究心を育む「ふしぎ探究塾」、「島尾敏雄日記展」、「恵原義盛スケッチ展」(1月末まで)など、好評を得ました。

中でも、昨年当館が力を入れた「奄美群島日本復帰60周年記念復帰関係資料巡回展」は、5群島の図書館、公民館、博物館のご協力を得て開催できました。来場者の皆様には当時を回顧し、平和のありがたさをかみしめ、奄美群島民結束の力を考える契機になったのではないかと思います。その力を次は、「奄美・沖縄世界自然遺産登録」の実現に向けていきたいと思います。当館では今年、世界遺産関係の図書や資料を収集していきます。研究や勉強会にぜひご利用ください。

皆様、今年もよろしくお願いいたします。

「クリスマスおはなし会」開催

子どもたちが読書の楽しさや感動を味わい、進んで読書に親しもうとするきっかけとなるように、「奄美図書館クリスマスおはなし会」を、12月15日(日)に開催しました。

午前と午後の部をあわせて、約560名の親子が参加してくださいました。読み聞かせボランティアの方々のご協力をいただき、大型絵本、大型紙芝居・エプロンシアター等の実演を行いました。おはなしの世界からのプレゼントは子どもたちの心に届き、子どもたちの瞳が輝き、笑顔があふれる時間となりました。



奄美の民衆詩人 奄美大島の日本復帰運動に生涯をささげた

いずみ ほうろう

「泉 芳朗」

泉芳朗は、1905年(明治38年)に徳之島伊仙町面縄に生まれました。鹿児島第二師範学校を卒業して郷土に帰り、赤木名小学校、古仁屋小学校、面縄小学校の教師として教壇に立ちます。面縄小学校に勤務しているとき、両親の住む我が家から、泉の母校に通う子どもたちといっしょに歩く毎日の中で、多くの作品を生み出しました。そして、それらを一冊にまとめて、1927年(昭和2年)に最初の詩集『光は濡れてゐる』を出版、その翌年には教員生活に別れを告げ、東京に出て詩人として活躍し、『赫土にうたふ』を出版しました。

この『赫土にうたふ』の序文で、ロシア文学者の昇曙夢は次のように述べています。「最近明星の如く詩壇の地平線の上に輝き出した一人の若い南國詩人がある。(中略)君こそは實に期待された唯一の南國詩人である。南の島の豊かな自然と強烈な日光と色彩とが、君の筆を通して如何に歌ひ出されてゐるか。長い間 孤島に秘められた、エキゾチックな匂ひの高い不可思議な物語が、君の藝術によって如何に新しい生命に輝き抱いたか。」昇曙夢が、奄美大島出身の泉芳朗の詩に大きな期待をかけていることがよくわかります。

泉芳朗は11年間東京で暮らし、34歳の時に健康を害して、奄美大島に帰ってきます。そして、島の人々の中で、島の人々の心を歌い続けました。奄美大島の日本復帰運動も、詩によっておしすすめていきました。奄美大島を愛する泉芳朗を先頭にしながらこそ、二十万人全員が気持ちを一つにして、日本復帰を成し遂げることができたのだと感じます。

第10回ネリヤカナヤ創作童話コンクール表彰式

第10回ネリヤカナヤ創作童話コンクール(鹿児島県図書館協会奄美支部主催、鹿児島県立奄美図書館共催)の表彰式が12月8日(日)に行われました。

まず、第10回記念大賞・最優秀賞・優秀賞・学校賞の受賞者一人一人に賞状が授与されました。そして、受賞者を代表して、小学6年生の部で最優秀賞を受賞した、奄美市立屋仁小学校的諏訪朱音さんがあいさつをしました。その後、第10回記念大賞を受賞した原田悠毅さんが、奄美図書館職員といっしょに、作品「森のドライブ」を大型紙芝居(山下洋子さん・奄美市立小宿小学校 学童クラブたんぽぽ制作)で紹介しました。



お知らせ

参加して
みませんか!

あまみならでは学舎 7

- 期日 平成26年1月18日(土) 14:00~15:30
- 場所 鹿児島県立奄美図書館 4階研修室
- 内容 演題「黒糖焼酎と料理のマリアージュ(食べ合わせ)」
講師 SAKE工房 心 新元 淳平氏

郷土コーナー企画展

- 期間 ~平成26年1月30日(日)
- 場所 鹿児島県立奄美図書館 2階郷土コーナー
- 内容 恵原義盛没25年記念スケッチ画展

※ お問い合わせは、鹿児島県立奄美図書館まで。
〒894-0016 鹿児島県奄美市名瀬古田町1-1
TEL 0997-52-0244 FAX 0997-52-9634

1月の行事カレンダー



月	日	曜	行事・催し
1	1	水	年末年始休館
	2	木	年末年始休館
	3	金	臨時開館(17時までの開館)
	4	土	17時までの開館
	6	月	休館
	8	水	おはなしの森 15:30~
	9	木	青嶺短歌会 13:00~17:00
	10	金	育児サークル「こっちむいて」10:00~
	11	土	おはなしさんぽ 10:30~
	14	火	休館
	15	水	おはなしの森 15:30~
	18	土	あまみ子どもライブラリー 10:00~ 読書会「島にて」10:00~ あまみならでは学舎 14:00~15:30
	19	日	奄美郷土研究会 14:00~
	20	月	休館
	22	水	おはなしの森 15:30~
	25	土	大島地区小学校国語教育研究会 9:00~
	27	月	休館
	29	水	おはなしの森 15:30~
	31	金	休館(整理研修)
2	8	土	あまみならでは学舎 14:00~15:30

2月の休館日予告



3日(月)・10日(月)・

17日(月)・24日(月)・25日(火)

今月の新着図書コーナー

読書の風を
奄美から

児童

だいすき、でも、でもね
二宮 由紀子 文研出版
ん
長田 弘 講談社
ちょうちょ
江國 香織 白泉社
ぼくらの秘島探検隊
宗田 理 ポプラ社
まちのおばけ図鑑
斉藤 洋 講談社
ほんとおおきさ・てがたあしがた図鑑
小宮 輝之 学研教育出版
その他82冊

郷土関係

美(ちゅ)ら島の生物ウォッチング100
土屋 誠/伊澤 雅子 東海大学出版会
写真アルバム 奄美の昭和
楠田 豊春 監修 樹林舎
その他15冊

おすすめの本

ゆきのうえ ゆきのした

ケイト・メスナー 福音館書店

雪の上を、女の子がお父さんとスキーですべていきます。雪の上はしんと静まりかえって真っ白ですが、雪の下には、まったく別のひみつの世界があります。リスやウサギ、ネズミやウシガエルにビーバー、そしてクマまで、さまざまな生き物たちが思い思いの姿で、寒さや危険から身を守りながら、雪の下でくらしています。

雪の上と雪の下の様子が、交互に気持ちのよいリズムで語られていくお話です。最後には、登場した動物たちの解説もあります。

一般

死を超えて
日野原 重明 いきいき株式会社出版局
世界文化遺産から読み解く世界史
田中 英道 育鵬社
デジタルカメラによる野鳥の撮影テクニック
中野 耕志 誠文堂新光社
その他139冊

小説・随筆

黙示録
池上 永一 角川書店
ゼツメツ少年
重松 清 新潮社
だから荒野
桐野 夏生 毎日新聞社
みがけば光る
石井 桃子 河出書房新社
その他17冊

進学・ビジネス支援

働くための「話す・聞く」
上田 晶美 ペリかん社
その他2冊

ためない心の整理術

岸本 葉子 佼成出版社

今の世の中は、情報が多く、また、次々に対応を要する連絡などが入ってきます。ほとんどの人が「ためこみややすい環境」に生きていて、気を遣うということです。何もかも詰め込みすぎでは、うまく回っていきません。片付けが必要です。

物だけでなく、心も「八割収納」をめざし、暮らしの上の工夫、人間関係の持ち方などさまざまな場面を通して、毎日を気持ちよく過ごせるような整理術が書かれているエッセイです。